

2018年9月27日

各位

大日本住友製薬株式会社

「SUSTAINA ESG AWARD」総合部門でゴールドクラスを受賞

大日本住友製薬株式会社(本社:大阪市、社長:野村博)は、このたび、SUSTAINA ESG AWARDにおいて「ESG 経営先進企業」に選定され、総合部門で上位 20 社に与えられるゴールドクラスを受賞しました。そのうち、G:ガバナンスのスコアが高い企業としてブロンズを受賞し、さらに、業種別部門「医薬品」においてゴールドを受賞しましたので、お知らせします。

SUSTAINA ESG AWARD は、2018 年にサステナ社が創設した、ESG(環境・社会・ガバナンス)に積極的に取り組む企業を表彰する制度です。AI による独自の ESG 評価に財務評価を加える手法により、総合スコアの上位 100 社が「ESG 経営先進企業」として選定されます。

当社は、社会に対する使命を、「人々の健康で豊かな生活のために、研究開発を基盤とした新たな価値の創造により、広く社会に貢献する」という「企業理念」に掲げ、その実践を「当社の CSR 経営」と定義しています。今後も CSR 経営を実践し、持続的な企業価値向上を目指していきます。



以上